

# うに郷通信

No.137  
令和2年(2020)11月

発行：宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

## 宇仁ふれあいバスの試験運行について

宇仁ふれあいバス(通称 うにバス)が10月1日(木)から試験運行を開始しました。高齢化の到来および公共交通の少ない地域であることから、4年前から宇仁郷住民が切望していた公共交通が実現し、近隣施設(病院や買い物の施設など)への移動手段を確保することができるようになりました。

国正線(火・木曜日運行)と小印南線(月・水・金曜日運行)の2路線あり、殿原町の中富口とAコープ滝野店の間を、青色の車体に家族団欒で花見を楽しんでいるイラストが描かれたデザインの「うにバス」が走行しています。コミバスねっぴー号

が走る県道沿いだけでなく、各町の奥まで入った場所に停留所を設け、少しでも自宅の近くから乗車できるように配慮しています。これにより、ねっぴー号の停留所まで遠かった小印南町、青野町の住民の方も身近な場所で乗車できるようになりました。なお、加西病院などに行くため中富口バス停でねっぴー号もしくは神姫バス大和～北条線に乗り継ぎされる方は、うにバスの降車時に運転手に「乗り継ぎます」と声をかけていただければ乗り継ぎ専用乗車券をお渡します。ねっぴー号や大和線の運賃が往復無料となります。

試験運行期間中に多くの宇仁郷住民の皆さんに「うにバス」を利用していただくとともに、利用しやすい運行となるように改善すべき内容などのご意見・ご提案をいただきますようお願いいたします。

※停留所の場所および運行時刻表は、10月初めに全戸配布した宇仁ふれあいバス運行開始のチラシをご覧ください。(宇仁ふれあいバス部会)



## 大芋まちづくり協議会の視察を受け入れました

10月11日、丹波篠山市の「大芋(おくも)まちづくり協議会」より、前田情報部会長が「宇仁ふれあいバス」の視察に来られました。前田さんとは平成30年8月以来のとても懐かしい再会でした。

「長い時間をかけてのバスの導入、大変だったそうですね?」とか、「隣の加東市まで行くようになり、大変便利になったと思いますが反対はなかったですか?」また、バスを見て「どうしてこんなに素敵なデザインができたのですか」等の質問に岡本部会長他2人が交代で答える様式での視察研修となりました。

なお、宇仁郷からは、現在の大芋地区の概要について以下のような質問をして応答がありました。

- ・大芋地区の人口は? 「約800人で、11集落です」
- ・大芋デマンドバスの運賃は? 「地区内200円、篠山市内まで500円です。」
- ・事故は? 「現在まで無事故です。」
- ・宇仁を見て感じたことは? 「立派な神社や、大きな小学校があることですね。大芋小学校は数年前、児童数が25人になり統合となりましたが、色々の問題が発生し大変なことになっています。頑張って小学校を守ってください。」などで交

流を深め終了しました。(協議会事務局 & 宇仁ふれあいバス部会)



## 子ども達と遊具のペンキ塗りを楽しみました

市の強引な幼児園統廃合により、小さな子ども達は宇仁小学校や地域の皆さんとの大切なふれあいや繋がりが全くなってしまい、大事な思い出も壊れてしまうところでした。

しかしながら、区長さんをはじめ町役員さんなどが、真夏の暑い時期に廃園となった園の遊具を丸山公園へ運び設置をしていただき、この度は子ども達と一緒にペンキ塗りをして楽しませていただきました。ありがとうございました。

丸山公園に旧幼児園で使用していた遊具が設置されたことによって、子ども達を遊ばせながら地域の保護者同士が安心して子育ての悩みや不安を気軽に話せる場所が一つ増えました。是非、他町の皆さんも遊具がいっぱいある青野町へ遊びに来てください。

(青野町子供会)



## 宇仁郷歴史資料館だより

Vol. 3.04

### 吉田省三記念文庫の開設準備 ③

パソコンに入力したデータに連番を付けるとともに、書籍にも連番シールを貼り付けました。一方、すべての書籍データに分類番号を付け、分類番号順に並べ替えました。これにより、連番を指定すればどの書架の何段目に入っているかが分かるようになっています。

次は、分類番号順に正規の書架に入れていけば良いのですが、書架を一旦空にする必要があり、仮置きで入っている書籍を取り出して床に並べるという作業に手間がかかりました。

正規の書架に収められた書籍には、書架番号・段数・分類記号を含んだバーコードを作成し、書籍名を記載したバーコードラベルを印刷し書籍の裏表紙に貼り付けています。ラベルには保護シールも貼り付けました。

これらの作業が終わったのが平成 31 年 3 月末でした。各書架へ収蔵書籍の分類名を記載したシールを貼りつけるなどの作業を終え、さくらまつりの当日(平成 31 年 4 月 7 日)に「吉田省三記念文庫オープン記念式典」を迎えました。



開館日 毎日曜日9時30分～12時

### 編集後記・雑感

今年は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、宇仁郷まちづくり協議会の主要行事のほとんどが中止または規模を縮小しての開催となりました。

国内では一日の感染者数のピークが過ぎて厳しい規制は徐々に解除されてきているとは言え、まだまだ予断を許さない状態にあり、集団感染(クラスター)発生を防止するため三蜜(密閉、密集、密接)を極力避け、多人数の集まるイベントを自粛するというのが一般的になっています。

一方で、経済活動の停滞により大きなダメージを受けている一部業種救済のため、GoToトラベルキャンペーンやGoToEat キャンペーンなども始まっていますが、本当に困っている小規模の業者・店舗のためにどれだけ役立っているのか疑問を感じますが、各自の責任ある判断で行動してこれらの一助になればと思っています。

それにしても、宇仁郷通信は活動自粛で記事の少ない中よくもまあ継続できているものだと感心しています。編集者として何回も締めかけましたが、締め切りまでにそこそこの原稿が集まり発行できています。執筆されている皆さん本当にありがとうございます。